



平成 20 年 11 月 21 日

各 位

会社名 株式会社 A C K グループ  
代表者名 代表取締役社長 廣谷 彰彦  
( J A S D A Q ・ コード番号 2 4 9 8 )  
問合せ先 取締役 長尾 千歳  
統括管理本部長  
TEL 03 - 6311 - 6641

**平成 20 年 9 月期通期連結業績予想の修正  
ならびに個別業績の前年実績値との差異および特別損失の計上に関するお知らせ**

当社は、平成 20 年 7 月 31 日付で、「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しましたが、平成 20 年 9 月期（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）の通期連結業績予想ならびに個別業績の前年実績値との差異および特別損失の計上に関し、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 9 月期連結業績予想の修正（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 20 年 7 月 31 日発表)	25,100	350	430	20
今回修正予想(B)	26,380	418	445	57
増減額(B) - (A)	1,280	68	15	37
増減率	5.1%	19.4%	3.5%	185.0%
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 9 月期)	22,763	586	653	36

2. 修正の理由

平成 20 年 7 月 8 日付プレスリリース「子会社における事業譲受等の契約締結に関するお知らせ」にありますように、当社子会社である(株)オリエンタルコンサルタンツは、8 月 1 日付で(株)パシフィックコンサルタンツインターナショナルの海外コンサルタント事業を譲受けましたが、7 月 31 日公表の予想数値には、当該事業取得に係る業績数値は未反映でありました。

最終的に平成 20 年 9 月期連結売上高は、当該コンサルタント事業の 2 カ月分の売上高が、新たに算入することになったため、263 億 80 百万円となる見込みとなりました。

このようななか、事業譲受および買収防衛策導入に伴う諸経費増があったものの、売上

原価および販売費一般管理費に係る人件費および経費等の削減効果もあり、営業利益、経常利益はそれぞれ、4億18百万円（前回予想3億50百万円）、4億45百万円（前回予想4億30百万円）となる見込みです。また、当期純利益につきましては、法人税等負担額が予想を下回ったため、57百万円（前回予想20百万円）となる見込みです。

### 3．平成20年9月期個別業績の前期実績値との差異

(1) 平成20年9月期個別業績の前期実績値との差異（平成19年10月1日～平成20年9月30日）

（単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前期実績(平成19年9月期)(A)	424	129	97	93
今期実績(平成20年9月期)(B)	842	364	323	4
増減額(B) - (A)	418	234	225	88
増減率	98.6%	181.3%	230.0%	95.0%

#### (2) 差異の理由

当社は、グループ会社10社を傘下とする純粋持株会社であります。平成19年9月期におきましては、大成基礎設計(株)および吉井システムリサーチ(株)ほか1社を買収し、また(株)総合環境テクノロジーを新規設立しました。

これらの要因もあり、平成20年9月期におきましては、グループ各社から受領する経営管理料および受取配当金の営業収益が、飛躍的に増加しました。これに伴い、営業利益および経常利益も大幅な増益となりました。

しかしながら、平成20年9月期は、業績不振であった(株)ワールドについて、関係会社株式評価損3億43百万円を特別損失に計上したため、当期純利益は大幅減少する結果となりました。

### 4．特別損失の計上

当社は、平成20年9月期個別業績において関係会社株式評価損3億43百万円を計上しました。その背景については以下のとおりであります。

当社子会社である(株)ワールドは航空測量を主力事業としておりますが、近年の価格競争の激化等により収益性が著しく悪化し、過去3期において連続して赤字を計上するに至りました。そのため、時価が取得価額を大幅に下回ることになったため、当期において株式評価損を計上することといたしました。

以上